平成13年3月13日第三種郵便物許可　2004年7月25日発行　年4回（1、4、7、10月の25日発行）
Newsletter

THE BASEBALL MUSEUM SINCE 1959
Vol.14 / No.2

The Baseball Hall of Fame and Museum
財団法人 野球体育博物館

野球殿堂入り表彰式　～祝福の場～

事務局長　小林二三男

平成16年度の野球殿堂は、競技者表彰から西鉄ライオンズでプレーし近鉄バファローズとオリックス・ブルーウェーブで監督を務めた仰木 彬氏、特別表彰から大洋ホエールズで投手として活躍した故・秋山 登氏が選出されました。表彰式は7月10日㈯ナゴヤドームで行われたオールスター第1戦の5回終了時に、満員のファンが温かく見守るなか執り行われました。

顕彰者の仰木 彬氏と秋山 登氏夫人のケイ子さんが場内アナウンスに従って入場すると、出場選手全員がホームベースからマウンドまで花道を作ってお出迎え、その後をお二人の現役時代のユニフォームが出場選手に掲げられての入場となりました。その間、オーロラビジョンではお二人の現役時代の勇姿が紹介されました。整列後、根来理事長から仰木氏・秋山氏にそれぞれ記念のレリーフが贈られ、プレゼンターの西本幸雄氏（1988年殿堂入り）、関根潤三氏（2003年）からは花束が贈られました。

お二人を代表して仰木氏は「野球界に携わる皆様、ファンの皆様と感激と感動を共有できたことを感謝しています。野球界の今後の発展にそして青少年の育成に微力ながら尽力してゆく覚悟です。」と喜びを語られました。退場するときには、出場選手や満員のファンから温かい祝福や盛大な拍手を受け、心に残る表彰式となりました。特に現役選手からの先輩に対する感謝がこもった祝福で大いに盛り上がりました。

今日の野球の発展や隆盛に貢献された方々を表彰し、その功績を永遠にたたえる為につくられたのが野球殿堂です。今や日本人プレーヤーが堂々と大リーグでプレーする時代になれたのもすべて先輩たちがあつい情熱を注ぎ、長い年月をかけて築いてくれた土台があるからこそであります。その感謝と祝福の思いが形となった今回の表彰式でした。

関根潤三氏　西本幸雄氏　　秋山ケイ子氏　根来野球体育博物館理事長　仰木　彬氏

夏休みのイベント情報

特別展「平成16年度　野球殿堂入り特別展」

会　期　～10月3日(日)
会　場　殿堂ホール

今年野球殿堂入りされた仰木　彬氏と故・秋山　登氏の特別展を開催します。両氏のレリーフをはじめ、ゆかりの資料や写真、経歴や記録などを展示で紹介します。

「体験学習コーナー」

会　期　～9月5日(日)
会　場　イベントホールと図書室

プロ野球選手が使うバットやグラブに触れたり、軟式ボールの反発を調べたりすることができる、野球博物館の夏休み恒例企画「体験学習コーナー」を今年も開設します。今年は、野球をより身近に楽しく感じてもらえるように、"少年野球の用具"を加えます。また、野球を自由研究のテーマにしたいという小・中学生の相談に応じる「夏休み自由研究相談デスク」もあわせて開設します。

バット製作実演

期　日　平成16年8月13日(金)、14日(土)
時　間　午前の部 10：30～12：00　午後の部 13：30～15：00　予定
会　場　野球殿堂ホール
協　力　ミズノ株式会社

毎年恒例の用具製作イベントですが、今年は木製バットの製作実演を開催します。ミズノ株式会社様のご協力で、同社の渡邊孝博クラフトマンによるバット削りの実演がご覧いただけます。また、バットにまつわるいろいろな質問にお答えします。

特別展『野球とオリンピック展』

会　期　～10月3日(日)
主　催　全日本野球会議
　　財団法人 日本オリンピック委員会
　　財団法人 野球体育博物館
会　場　多目的ホール

当博物館では長嶋ジャパンの活躍を応援する特別展「野球とオリンピック展」を開催中です。
過去に日本代表の獲得したメダルや歴代ユニホームなどの実物展示のほか、オリンピックにおける野球競技の歴史、各大会での日本代表の戦績、6月25日に発表されたアテネ大会日本代表の紹介、結果速報なども行ないます。

殿堂入りの人々を語る(6)

～祖父と野球～

平岡　久治（平岡　凞氏　孫）

1959年殿堂入り
平岡　凞氏レリーフ

『平岡　凞』は晩年永く趣味であった『魚釣り』を楽しむために、大井浜川に数軒の粋な数奇屋普請の家を建て、その一つが『江見庵』と呼ぶ祖父『凞』の隠居所でした。私はその隣家で生まれました。従って親子一族の晩さんの機会は、孫々孫の私をあぐらの中に抱え込み楽しむのが恒例となっていたようです。このような祖父のようすに嫁の母は屡々「そろそろおいとまさせていただきます」と、切り出し難くて困ったようです。

しかし祖父至福の団らんもながくは続きませんでした。昭和９年５月６日『凞』は突然狭心症で急逝します。79才でした。私が４才の時です。従って「野球と祖父」の話は私の父親や他の諸先輩から聴き知った事なのです。

しかし皆さんのお話に共通したところ、ある意味で大変華麗な人生であったことは間違いありません。一つ言える事は先見性と才知に恵まれ、何事も徹底してやらねば気の済まぬところがあります。明治４年、選ばれて森有禮率いる視察団の一人として15才で渡米しますが本来の視察や修学と全く異なった結果となり、現地で着眼した大目標は鉄道事業で車両の製造を基軸とした工業生産技術の習得でした。将に当時の日本近代化に最も必要な仕事であったと思います。

とは申しましても平岡　凞はその他に大変多くの新しい物を持って帰国しています。

その一つが「ベースボール」でした。在米中勤めていたヒンクリー鉄道車両製造工場や、ボールドウィン汽車製造会社にも当時既にベースボールを楽しむ仲間が大勢いたと聞いています。

平岡　凞はそんなに大男ではありませんが、この連中を相手にすぐ一緒にプレー出来るようになり、流体力学に言うヌグナス効果や動体のジャイロ効果が生むところの『変化球』を体得し、彼らの中でもピッチャーを努める人気者であったらしいのです。後年音楽修行のために渡米留学した私の父が、現地の古老から聞かされたと言っておりました。

恐らくはこの頃のことでしょう。『凞』は元シカゴ・ホワイトストッキング、チームの投手であり、後に大運動具商を創ったスポルディング社長と昵懇になっていました。従って正規のルールブック（後に何度も改正されています）に基づいたゲームのレギュレーション等にはよく精通しており、単なる草野球をやっていたわけではなかったようです。帰朝後もスポルディング氏からそのつど新しいルールブックが送られています。

従って明治11年頃、勤務先の新橋鉄道局を中心に結成した日本初の野球チーム「新橋アスレチック倶楽部」は、当時唯一の正規ルールに基づいた野球を始めた事は確かだったと思います。

ベースボールはアメリカが発祥地ですから、その以前に本邦でも野球と言う競技があることは知られており、さまざまなボールゲームの類は試みられたようですが、本当の野球も野球場も存在はしなかった事は確かです。

たまたま平成10年４月４日付の朝日新聞に、100年以上昔の1888年７月15日付のシカゴトリビューン紙が平岡による日本初の社会人野球チーム「新橋アスレチック倶楽部」誕生を紹介した記事が偶然発見されて掲載されています。

何しろ初めてユニホームまでそろえた野球チームなんて「新橋アスレチック倶楽部」以外にありません。だが困ったのは道具で国産化以前の事でもあり、ここでもスポルディングにはだいぶ助けられたようです。

当然この新橋に生まれた野球倶楽部は、ルールに基づき造られたグランドを持っていましたから見に来る人々に、今では考えられぬような新しいスポーツに対する啓蒙と影響を与えた事は想像できます。（まだ野球場と言う名前はなく『保健場』と呼ばれていたのです）当時としては大変珍しいために相当世間の反響を呼んだようです。

平岡は何事も「粋」でまた「活きのよい」連中を好んだと聞いておりますから、当然だと思いますが、この野球熱はまず学生社会に飛び火、皆さんご承知の第一高等学校の正岡子規や岩岡保作の参入を初めとし、続く福島金馬から青井鉞男と本格的な投手があいついで『凞』から変化球の秘術を習ったと言われます。（この辺のお話が民放・世界不思議発見・「日本野球創世傳」に放映されています）

恐らく今『凞』が生きていたならば、日本選手が本家本元のアメリカの大リーグで活躍していたり、高校野球の盛況ぶりを観て大変驚くと思います。きっと「おいらのやって来た野球がこんなに凄げえ流行ったか」と喜ぶ事でしょう。

【日本で初めてカーブを投げた男】　鈴木康充・酒井堅次共著の本が小学館から出版されております、日米野球の起源や、私の祖父「平岡凞」についてご興味があればご一読をお勧めしたいところです。

知ってほしいこんな資料（48）

東京オリンピック　野球競技の資料

「野球というゲームを見せた」時代	
1904年	セントルイス大会
1912年	ストックホルム大会
1936年	ベルリン大会
1952年	ヘルシンキ大会
1956年	メルボルン大会
1964年	東京大会
「競技としてメダルを争った」時代	
1984年	ロサンゼルス大会
1988年	ソウル大会
正式種目	
1992年	バルセロナ大会
1996年	アトランタ大会
2000年	シドニー大会
2004年	アテネ大会

当博物館では現在、長嶋ジャパンの活躍を応援する特別展「野球とオリンピック展」を開催中です。同展では、過去に日本代表の獲得したメダルや歴代ユニホーム、選手の使用した用具などの展示のほか、オリンピックにおける野球競技の歴史も紹介しています。

オリンピックにおける野球競技の歴史は古く、今年のアテネ大会で実に12度目の開催となります（別表参照）。東京大会では、大学生の全米選抜チームを迎えて、都市対抗優勝の日本通運主体の全日本社会人選抜、全日本大学選手権優勝の駒沢大学主体の全日本学生選抜が対戦。試合は開会式翌日の10月11日に神宮球場で開催され、社会人チームは0対3で敗れ、学生チームは2対2で引き分けました。社会人選抜には竹之内雅史選手ら、学生選抜には土井正三選手、末次民夫選手、長池徳二選手ら後にプロで活躍した選手が多数含まれており、また、競技の運営本部長の武田孟氏をはじめ、殿堂入りの外岡茂十郎氏、佐伯達夫氏、藤田信男氏、小川正太郎氏が運営責任者として名を連ねています。

写真の資料は、当館でも取材協力をしたスポーツニッポンの記事（04年6月24日付）がきっかけとなって、当時の駒大監督で全日本学生選抜監督の小林昭仁氏よりお借りしたもので、同26日より展示しています。左手前より野球競技プログラム、記念メダル、記念章、奥が参加記念盾です。

プログラムには“デモンストレーションと日米の野球”と題し、東京大会で野球が開催される経緯、日米の野球のかかわりと歴史が記され、「日・米野球のこの上の発展と、野球がオリンピックの正式種目となる日の一日も早からんことを祈りつつ筆をおきます。」としめくくられています（全ページのコピーを図書室で公開中）。記念メダルは岡本太郎氏製作でサインも見え、裏面には五輪マークと“XVIII OLYMPIAD　第十八回オリンピック競技大会　TOKYO 1964”と浮彫りされています。記念章には“COMPETITOR”（競技者）と記されており、監督、選手が入場などの際胸に着けたものと思われます。また、記念盾は駒沢大学より記念品として小林氏に贈られたものとのことです。

公開競技として1日に2試合だけ行われた東京大会から40年、アテネ大会では各大陸予選を勝ち抜いた8カ国により11日間32試合の熱戦が繰り広げられます。長嶋JAPANの活躍が楽しみです。特別展「野球とオリンピック展」は10月3日までの開催で、アテネ大会終了後はメダルや使用された用具など、関連資料の追加展示を予定しております。

学芸員　関口　貴広

コラム／博覧・博楽 (11)

Cooperstown: A little hard to get to, but well worth the effort (Part I)

By Marty Kuehnert, (Visiting Professor of Sports Sciences, Waseda University / Supporter of Baseball Hall of Fame and Museum)

I grew up in Los Angeles, California, and even though I played other sports as a youngster, my first love was always baseball. Like most youngsters in my neighborhood, I was an avid baseball card collector. I kept the cards of my heroes, like Sandy Koufax and Maury Wills, safe in a shoe box in my closet. Players I didn't think much of wound up getting ruined as noise makers in the spokes of my bicycle wheels.

From the age of six I played baseball on the school team every spring, and then on a Little League, or later an upper youth league team, in the summer during vacation.

The California Angels offered me a small contract out of high school, but I decided to go to Stanford University instead, and played there for two years until a shoulder injury ended my college career. It was after that injury that I came to Japan on a Stanford-Keio University exchange program. But I could never get baseball out of my blood.

Subsequently as some of you may know, I have worked in the sports field all my life, mainly in baseball — in the front office of a Single-A team in Lodi, Calif., the Taiheiyo Club Lions in Fukuoka and the Double-A Birmingham Barons in Birmingham, Alabama; as a broadcaster for radio and TV; and as an author and journalist.

Thus most of my friends naturally assumed that long ago I have traveled to the mecca of baseball, the National Baseball Hall of Fame and Museum in Cooperstown, New York. But for a West Coast kid, Cooperstown is hard to get to. It's located across the vast country from Los Angeles. To get there from LA, you have a 5-hour airplane flight to New York City, and then a bus or auto ride of about six hours to the northern part of the state.

And, of course, if you are traveling from Japan, you need a minimum of about 20 hours of transportation time.

Let me tell you, however, it is worth the time and trouble to visit Cooperstown. I know, I FINALLY did it on May 8.

(To be continued)

（日本語訳）クーパースタウン — 時間をかけても行く価値のある野球のメッカ（前編）

マーティー・キーナート（早稲田大学スポーツ科学部客員教授、野球体育博物館維持会員）

私はロサンゼルスで育った。少年の頃野球以外のスポーツも楽しんだが、私が第一に愛したのは野球だった。近所の少年たち同様、野球カードを夢中になって集め、サンディ・コーファックスやモーリー・ウィルスなどヒーローのカードをクローゼットの靴箱の中に大事にしまいこんだ。あまり重要でないカードは、自転車のスポークにはさんで音をたてて遊んだあと、そのまま捨ててしまった。

6歳の時から春になると学校のチームで野球をした。夏休みになると、リトル・リーグ、大きくなってからは、上のユース・リーグのチームでもプレイした。

ハイスクール時代にカルフォルニア・エンゼルスがスカウトしてくれたが、スタンフォード大学に進学することに決めた。しかし肩を痛めて大学での野球生活は2年間で終わった。この後スタンフォード・慶応大学間の交換留学制度で初来日したが、野球への情熱を失うことは全くなかった。

何人かの方はご存知のように、その後はずっとスポーツの分野、特に野球で働いてきた。カルフォルニア州ローダイの1Aチーム、福岡の太平洋クラブ・ライオンズ、アラバマ州バーミングハムの2Aチーム（バーミングハム・バロンズ）ではフロント・オフィスの仕事に携わり、さらにテレビ・ラジオの放送アナウンサー、ライター、そしてジャーナリストを続けている。

こんな具合だから、私が、野球のメッカであるクーパースタウンの野球殿堂には、とっくに行ったことがあると友人達が思い込んでいたのは当然の話である。しかし西海岸の少年にとって、ニューヨーク州にあるクーパースタウンはロサンゼルスからは広大な土地を隔てた彼方で、簡単に行けるような場所ではない。ロサンゼルスからニューヨークまで5時間の飛行機のあと、さらにバスか車で約6時間、ようやくニューヨーク州の北部に達するのだ。まして日本から行くとなれば最低でも20時間の旅行時間が必要だ。

それでも、こんなに時間と労力がかかってもクーパースタウンを訪ねる価値は大いにあるのだ。去る5月8日にようやくクーパースタウンを訪ねた私はこのことを実感した。

（以下次号・日本語訳　鈴木龍一　当館顧問）

こんにちは図書室です

～メジャーリーグ30球場 (2) ～

前回、メジャーリーグ30球団について取り上げてから２年間で、新しく３球場、名前が変わったのが５球場もあることから、新たに球場を表にしました。

（主な参考文献：Baseball Guide 2004、各球団ホームページ）

司書　山根　礼子

球場名（チーム名）	レフトーセンターーライト (feet)＊1 feet＝約0.3m	公式戦初試合	芝	収容人員
Angel Stadium of Anaheim（Anaheim Angels） ［エンジェル・スタジアム・オブ・アナハイム］（アナハイム・エンジェルス）	330－400－330	66. 4 .19	天然	45,050
Oriole Park at Camden Yards（Baltimore Orioles） ［オリオール・パーク・アット・カムデンヤーズ］（ボルチモア・オリオールズ）	333－400－318	92. 4 . 6	天然	48,190
Fenway Park（Boston Red Sox） ［フェンウェイ・パーク］（ボストン・レッドソックス）	310－390－302	12. 4 .20	天然	36,298
U.S. Cellular Field（Chicago White Sox） ［US・セルラー・フィールド］（シカゴ・ホワイトソックス）	330－400－335	91. 4 .18	天然	47,098
Jacobs Field（Cleveland Indians） ［ジェイコブス・フィールド］（クリーブランド・インディアンズ）	325－405－325	94. 4 . 4	天然	43,368
Comerica Park（Detroit Tigers） ［コメリカ・パーク］（デトロイト・タイガース）	345－420－330	00. 4 .11	天然	40,120
Kauffman Stadium（Kansas City Royals） ［カウフマン・スタジアム］（カンザスシティ・ロイヤルズ）	330－400－330	73. 4 .10	天然	40,793
Hubert H. Humphrey Metrodome（Minnesota Twins） ［ヒューバート・H・ハンフリー・メトロドーム］（ミネソタ・ツインズ）	343－408－327	82. 4 . 6	人工	45,423
Yankee Stadium（New York Yankees） ［ヤンキー・スタジアム］（ニューヨーク・ヤンキース）	318－408－314	23. 4 .18	天然	57,478
Network Associates Coliseum（Oakland Athletics） ［ネットワーク・アソシエイツ・コロシアム］（オークランド・アスレチックス）	330－400－330	68. 4 .17	天然	43,662
Safeco Field（Seattle Mariners） ［セーフコ・フィールド］（シアトル・マリナーズ）	331－405－326	99. 7 .15	天然	47,772
Tropicana Field（Tampa Bay Devil Rays） ［トロピカーナ・フィールド］（タンパベイ・デビルレイズ）	315－404－322	98. 3 .31	人工	44,445
Ameriquest Field in Arlington（Texas Rangers） ［アメリクウェスト・フィールド・イン・アーリントン］（テキサス・レンジャーズ）	332－400－325	94. 4 .11	天然	49,115
SkyDome（Toronto Blue Jays） ［スカイドーム］（トロント・ブルージェイズ）	330－400－330	89. 6 . 5	人工	50,516
Bank One Ballpark（Arizona Diamondbacks） ［バンクワン・ボールパーク］（アリゾナ・ダイヤモンドバックス）	330－407－334	98. 3 .31	天然	49,033
Turner Field（Atlanta Braves） ［ターナー・フィールド］（アトランタ・ブレーブス）	335－401－330	97. 4 . 4	天然	50,091
Wrigley Field（Chicago Cubs） ［リグレー・フィールド］（シカゴ・カブス）	355－400－353	16. 4 .20	天然	39,241
Great American Ball Park（Cincinnati Reds） ［グレート・アメリカン・ボールパーク］（シンシナティ・レッズ）	328－404－325	03. 3 .31	天然	42,271
Coors Field（Colorado Rockies） ［クアーズ・フィールド］（コロラド・ロッキーズ）	347－415－350	95. 4 .26	天然	50,449
Pro Player Stadium（Florida Marlins） ［プロ・プレーヤー・スタジアム］（フロリダ・マーリンズ）	330－434－345	93. 4 . 5	天然	36,331
Minute Maid Park（Houston Astros） ［ミニッツメイド・パーク］（ヒューストン・アストロズ）	315－435－326	00. 4 . 7	天然	40,950
Dodger Stadium（Los Angeles Dodgers） ［ドジャー・スタジアム］（ロサンゼルス・ドジャース）	330－395－330	62. 4 .10	天然	56,000
Miller Park（Milwaukee Brewers） ［ミラー・パーク］（ミルウォーキー・ブリュワーズ）	342－400－345	01. 4 . 6	天然	41,900
Olympic Stadium（Montreal Expos） ［オリンピック・スタジアム］（モントリオール・エキスポズ）	325－404－325	77. 4 .15	人工	46,620
Shea Stadium（New York Mets） ［シェイ・スタジアム］（ニューヨーク・メッツ）	338－410－338	64. 4 .17	天然	57,393
Citizens BankPark（Philadelphia Phillies） ［シチズンズ・ボールパーク］（フィラデルフィア・フィリーズ）	329－401－330	04. 4 .12	天然	43,500
PNC Park（Pittsburgh Pirates） ［PNC パーク］（ピッツバーグ・パイレーツ）	325－399－320	01. 4 . 9	天然	38,496
Busch Stadium（St.Louis Cardinals） ［ブッシュ・スタジアム］（セントルイス・カージナルス）	330－402－330	66. 5 .12	天然	50,354
Petco Park（San Diego Padres） ［ペトコ・パーク］（サンディエゴ・パドレス）	334－396－322	04. 4 . 8	天然	42,000
SBC Park（San Francisco Giants） ［エスビーシー・パーク］（サンフランシスコ・ジャイアンツ）	339－399－309	00. 4 .11	天然	41,584

……2002年４月以降名称が変更になった球場

……2002年以降新しくなった球場

博物館からのお知らせ

【評議員の交代】

★新　任★

斉藤　和久氏（㈶日本学生野球協会副会長）
足高　圭亮氏（㈱大阪バファローズ常務取締役球団代表）
瀬戸山隆三氏（㈱千葉ロッテマリーンズ取締役球団代表）

★退　任★

竹内　一樹氏、小林　哲也氏、川北　智一氏

【博物館で販売中！】

『The Official Baseball Encyclopedia 2004』

「The Officail Baseball Encyclopedia 2004」を当博物館受付にて、販売しています。（1冊 16,800円税込）
※通信販売等希望者は、『ベースボール・マガジン社 受注センター ☎025－780－1231』へお問合せ下さい。

おもな目次

①各年度チーム勝敗表、打撃・投手・守備成績、個人打率・防御率ランキング、打撃・投手・守備各部門リーダーズ
②打撃・投手・守備部門別通算最多（最高）ランキング／打撃・投手・守備部門別シーズン最多（最高）ランキング
③年度別ライフタイム・レコード（公式戦・日本シリーズ・オールスター・ゲーム）個人年度別打撃成績（経歴・タイトル・表彰・記録）／個人年度別投手成績
④年度別監督成績
⑤各年度チーム別勝敗・打撃・投手・守備主要部門成績

『オフィシャル・ベースボール・ガイド 2004』

㈳日本野球機構編（税込 2,900円）
両リーグの全選手打撃成績・全投手成績、日本シリーズ・オールスターゲームの記録集、イースタン・ウエスタンリーグの成績、セ・パ両リーグの記録集、個人年度別成績などプロ野球の1年の出来事がわかる一冊です。

博物館のロゴのピンバッチ

価格は1個500円（税込）です。
◎ピンバッチの仕様
・素　材　銅
・サイズ　31.5mm×24mm
・厚　さ　1.4mm
・着　色　擬似七宝1C（白）＋プリント2C
・メッキ　金

プロ野球公認球

大好評のプロ野球公認球を今年も販売しています。「反発テスト」に合格したボールには「試合に使ってよろしい」との合格印「APPROVED BY COMMISSIONER NPB」が押されます。このコミッショナー印の押された試合球は、一般には販売していない「貴重」なボールです。

公認球　　1個1,600円（税込）
郵送ご希望の方は、「公認球希望」と明記の上、代金（公認球代＋梱包送料）を現金書留でお送り下さい。
梱包送料　　1個　250円
　　2～3個　400円
※ご購入は、1人3個までとさせていただきます。

【当館ホームページをリニューアルしました！】

ホームページの全面リニューアルについては、本年4月より実施していますが、この度、さらに「野球殿堂」情報の充実化を図りました。殿堂入りされた方々（本年度まで151名）のレリーフや顕彰文をインターネットで見ることが可能になりました。今後も、「鎮魂の碑」に関する内容や、「ニュースレター」のバックナンバーの掲載など当館ならではの情報提供を行い、ホームページ利用者（平成15年度アクセス実績570万件／年）への便宜を図っていきたいと思います。

ホームページのアドレス　http://www.baseball-museum.or.jp/

【維持会員を募集しています】

財団法人野球体育博物館は、昭和34年に野球専門の博物館として開館して以来、野球や体育に関する資料を収集・保管・公開してきました。バット等の実物・写真資料は約3万点、図書・雑誌は約5万点を収蔵しており、展示や閲覧という形で多くの方々に利用していただいております。

また、年1回競技者表彰委員会と特別表彰委員会にて野球界の功労者を選出し、「野球殿堂入り」として表彰しています。

維持会員とは、このような博物館の事業にご賛同いただいた方々に、維持会費をお願いし、博物館の運営をご支援いただくものです。

会員の特典

・当博物館発行「ニュースレター」（季刊）送付します。
・何度でも無料で博物館に入館できる優待証を発行します。
・会員以外の方でも利用できる博物館招待券を差し上げます。
・イベント情報などを優先的にご案内します。

会員の種類と会費

年会費（4月～翌年3月迄）
　法人　1口　10万円　　個　人　1口　1万円
※入会月により、初年度年会費の割引があります。

お問合せ　財団法人野球体育博物館 業務部 まで

● 博物館のご案内

場　所　東京ドーム21ゲート右
開館時間　3月1日～9月30日 AM10時～PM6時
　　10月1日～2月末日 AM10時～PM5時
　　＊入館は閉館の30分前まで
入館料　大人 400円（300円）　小・中学生 200円（150円）
　　（　）は20名以上の団体
休館日　月曜日（祝日、プロ野球開催日、春・夏休み中の月曜日は開館）
　　年末年始（12月29日～1月1日）

《8月・9月・10月の休館日》
9月　13日・27日
10月　4日・18日・25日
＊9月12日まで無休です。

●編集後記
さあ、夏休み。博物館では楽しんでちょっとためになるさまざまなイベントで皆様をお待ちしています。ぜひご来館下さい！

Newsletter Vol.14 / No.2
2004年7月25日発行
編集・発行　財団法人 野球体育博物館
〒112－0004
東京都文京区後楽1－3－61
Tel 03（3811）3600 Fax 03（3811）5369
http://www.baseball-museum.or.jp/
定 価 100円

平成13年3月13日第三種郵便物許可　2004年7月25日発行　年4回（1、4、7、10月の25日発行）
Newsletter

THE BASEBALL MUSEUM SINCE 1959
Vol.14 / No.2

リレー随筆(17)

競技者表彰委員会幹事
井関　　眞（大阪日刊スポーツ）

最近、野球人から立て続けに「アカン」という言葉を聞いた。「アカン」というのは「ダメだ」という意味の関西弁だが、嘆きの響きなども含まれている。

草魂の鈴木啓示さんは56歳。「１度はアメリカの野球殿堂も見に行かなアカンで。都会からだんだんと田園風景になって、野球の故郷にたどり着く…。感動的やで」。ニューヨーク州北部の町、クーパースタウンの野球の殿堂（ホール・オブ・フェイム）。原点の地に鈴木さんが旅したのは現役引退して間もなくであった。

近鉄で20年、投げ続けて通算３１７勝を積み重ねた。監督も務め、殿堂入りも。すべてを手に入れた300勝左腕は「野球」を語る時、今もまるで少年のような眼差しになり、野球の故郷への「巡礼の旅」をしきりに勧めるのだった。

元阪神監督、吉田義男さんは70歳。「カジやんは殿堂入りアキまへんのか？　投票する人が若返って、みんな往年の姿を知らんのと違いまっか？」。梶本隆夫さん。阪急夜明け前の快速球左腕だった。多治見工から入団していきなり20勝12敗。だが新人王にはなれなかった。26勝の宅和本司投手がいたからだ。20勝投手になること４回、防御率１点台が１回あったが、最多奪三振以外タイトルには無縁だった。通算254勝で255敗というのが、いかにも梶本さんらしい数字だろうか。

梶本さんの最盛期を少年ファンとして見ていた身からすれば、素晴らしくインパクトのあるサウスポーだった。打撃も天才的だった。オールスター12回出場のパの顔でもあった。何より20年間に渡って867試合に登板（歴代３位）した勤勉さが渋く輝く。

殿堂入りを決める投票者は、15年以上野球の取材経験がある記者だ。梶本さんが現役引退したのは1973年、私が野球記者になった時はもう選手としては晩年だった。「投票で殿堂入りを果たすことが、野球人の夢ですからな。カジやんみたいな人を、こぼさないようにせなアカンのと違いますか」。吉田さんの言葉は表面的な柔らかさの裏に強い響きがこもっていた。

―名将・西本幸雄さん、84歳。今も左打ちでゴルフを楽しみ、エージシュート５回の猛者である。ゴルフのショットを放つ直前、クラブでバッティング風の素振りを必ず１度する。脇が締まり、コンパクトでヘッドが効いている…。ケージ後方でノックバットを振りながら選手の指導を一心にしていた往年の姿が、今はゴルフ場で見られるのだ。

「アカン。無理や」。一緒にラウンドしていた時だった。同伴者が「松井（秀喜）はタイトル取れませんかね？」と軽い調子で尋ねたら、意外なほど強い語調で答えが返ってきた。その強打を認めながら、西本さんは彼の欠点が目に焼きついて仕方がない。「振る時、右脇が少し開くやろ。あの癖を直さな。誰か教えてやらなアカンわ…」。もどかしげな口調だった。

50になっても70、80になっても、みんな野球が大好き。幾つになっても、そして球界激動の非常事態に直面しても、野球を見つめる目は変わりなく熱く温かだ。

そう言えば鈴木啓示さんは、踏まれてなおしたたかに強くなる「草魂」のエース。彼はいつも「投げたらアカン！」と絶望を戒め、前向きに生きる心を訴えていた…。